

競 技 注 意 事 項

- 1 この大会は、2017年日本陸上競技連盟競技規則、および本大会の規定により審判する。
- 2 招集について
 - (1) 招集所は、本部ダッグアウトの上段に設ける。
 - (2) 招集開始時刻は、トラック種目は競技開始の30分前、フィールド種目は競技開始の40分前とする。
 - (3) 招集の手順について
 - ① 出場選手は、招集所に掲示された実施種目の記載内容を確認し、誤りがあれば競技者係に連絡する。
 - ② 招集開始時刻の約5分前には招集所で待機し、本人が点呼を受ける。その際に、ナンバーカードとスパイクのチェックを受ける。点呼を受けない選手は棄権とみなされる。
 - ③ 点呼の代理は認めない。ただし、同一時刻に2種目以上出場する選手は、必ず最初の種目の招集時に競技者係に申し出て、許可を得ておくこと。許可を得た場合に限り、代理人による点呼を認める。
- 3 トラック種目のスタートはイングリッシュコマンドとし、不正スタートした者は失格とする。また、小学生のスタートは日本語コマンドとする。不正スタートは一回のみとし、その後に不正スタートした選手はすべて失格とする。
- 4 トラック種目の予選において決勝への進出者を決める際、最下位で同タイムが生じた場合には抽選を行なう。
- 5 トラック種目で別ナンバーカードを使用する場合は、招集所で受け取り、レース終了後にゴール地点で返却すること。
- 6 トラック種目のレーン順はプログラム記載の上から下へとし、フィールド種目の試技順も左の行の上から下へ、次に右の行の上から下へとする。
- 7 準決勝・決勝の組み合わせはアナウンスの後、招集所に掲示する。
- 8 リレーのオーダー用紙は、招集所で競技者係から受け取り、オーダー他必要事項を正しく記入し、招集終了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。
- 9 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

走高跳 男子（練習＝1m20）1m25・30・35・40・45・50・55・60・65・70・73（以降3cmきざみ）
女子（練習＝1m00）1m05・10・15・20・25・30・35・40・45・50・53（以降3cmきざみ）
（優勝決定のためのバーの上げ下げは2cmとする）
- 10 棒高跳の練習のバーの高さ、及びバー上げ方は、公式練習時に審判員より連絡する。
- 11 スパイクシューズを使う場合は、9mm以下の全天候型のスパイクピンを使用すること。ただし走高跳・やり投は12mm以下とする。先端の尖ったニードルピン等は走路を傷めるため禁止する。
- 12 競技用具について
 - (1) スターティングブロックは競技場備え付けのものを使用する。
 - (2) やりは検査を受けて各自のものを使用する。その他の投てき物も検査を受けて使用しても良い。検査は、競技開始時刻の1時間前に、本部ダッグアウト横で行なう。
 - (3) その他の用具については、主催者が用意したものを使用する。
- 13 投てき用具の重量は次のとおりとする。

	砲丸	円盤	ハンマー	やり
男子	6.00 kg	1.75 kg	6.00 kg	800 g
女子	4.00 kg	1.00 kg	—	600 g

- 14 各種目の優勝者に選手権賞を授与する。決勝結果の発表後、本部に集合すること。
- 15 個人情報の取り扱いについて
本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外には使用しない。なお参加申し込みの提出により、個人情報のプログラムや掲示板への掲載、さらに本大会が認めた報道機関に公表し新聞等で公開されることを承諾したものと見なす。